

藤沢市教育委員会定例会（9月）会議録

日 時 2008年9月5日（金）午前10時

場 所 東館2階教育委員会会議室

1 開 会

2 会議録署名委員の決定

3 前回会議録の確認

4 議 事

(1) 議案第19号 藤沢市民ギャラリー運営協議会委員の委嘱について

5 その他

(1) 第1回関東中学生ビーチバレー交流大会の結果について

(2) 第2回神奈川県中学生ビーチバレー大会の結果について

(3) 第22回ビーチバレージャパン&マスターカードマーメイドカップの結果について

(4) 平成20年度地区レクリエーション大会の実施について

6 閉 会

出席委員

1 番 小 野 晴 弘
2 番 鈴 木 紳一郎
3 番 澁 谷 晴 子
4 番 平 岡 法 子
5 番 川 島 一 明

出席事務局職員

教育総務部長	落 合 英 雄	生涯学習部長	高 木 三 広
教育総務部参事	古 谷 一 幸	生涯学習部担当部長	平 綿 文 恵
教育総務部参事	茂 木 利 夫	生涯学習部参事	川 竹 律 夫
教育総務部参事	桑 山 光 生	教育総務部参事	酒 井 一 二
生涯学習部参事	熊 谷 正 明	総合市民図書館長	関 水 秀 樹
学 務 課 長	吉 田 正 彦	文化推進課主幹	神 尾 哲
学校教育課主幹	吉 田 早 苗		
書 記	秋 山 曜	書 記	中 山 裕 子

午前 10 時 00 分 開会

鈴木委員長

ただいまから、藤沢市教育委員会 9 月定例会を開会いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

鈴木委員長

それでは、日程に入ります。

会議録署名委員の決定ですが、本日の会議録に署名する委員は、4 番・平岡委員、5 番・川島委員にお願いしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

鈴木委員長

それでは、本日の会議録に署名する委員は、4 番・平岡委員、5 番・川島委員にお願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

鈴木委員長

次に、前回の会議録の確認をいたします。何かありますか。

特にありませんので、このとおりの承することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

鈴木委員長

それでは、このとおりの承することに決定いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

鈴木委員長

それでは、これより議事に入ります。

議案第 19 号藤沢市民ギャラリー運営協議会委員の委嘱について、を上程いたします。事務局の説明を求めます。

平綿生涯学習部担当部長

議案第 19 号藤沢市民ギャラリー運営協議会委員の委嘱について、ご説明申し上げます。(議案書参照)

この議案につきましては、現在、委嘱しております藤沢市民ギャラリー運営協議会委員が、2008 年 9 月 30 日をもって任期満了となることに伴い、藤沢市民ギャラリー条例第 10 条の規定に基づき、新たな委員を委嘱する必要により提案させていただくものです。

新たに委嘱いたします委員の人数は 7 名で、氏名等については記載のとおりです。委員の任期は、2008 年 10 月 1 日から 2010 年 9 月 30 日までの 2 年間となります。委員の候補者の男女別内訳は、女性 2 名、男性 5 名です。また、新任の候補者は 2 名、再任の候補者は 5 名となっております。今回の候補者の平均年齢は、62 歳です。以上です。

鈴木委員長

事務局の説明が終わりました。議案第 19 号につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

鈴木委員長

特にないようですので、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

鈴木委員長

それでは、議案第 19 号藤沢市民ギャラリー運営協議会委員の委嘱については、原案のとおり決定いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

鈴木委員長 次に、その他に移ります。

(1) 第1回関東中学生ビーチバレー交流大会の結果について、事務局の説明を求めます。

熊谷生涯学習部参事 第1回関東中学生ビーチバレー交流大会の実施結果について、ご報告申し上げます。(議案書参照)

本年8月16日(土)、鵜沼海岸常設ビーチバレーコートにおいて、第1回関東中学生ビーチバレー交流大会を実施いたしました。男子の部の参加数は21チーム、市内5チーム、市外5チーム、県外11チーム。試合の結果は優勝が羽鳥中学校(藤沢市)、準優勝藤沢クラブA(藤沢市)、3位が関沢クラブ、東橘クラブです。女子の部は参加数27チーム、市内6チーム、市外4チーム、県外17チーム。優勝は座間東中学校、準優勝が手広中学校といずれも神奈川県内です。3位は八王子実践1と八王子実践2でした。

事業の効果としては、非常に炎天下でしたが、多くの中学生バレーボーラーが参加し、鵜沼海岸で熱戦が展開されました。この関東大会については、将来的に国の補助事業であります「スポーツ拠点づくり推進事業」を目指して申請していくために、段階を踏んで実績をつくっていきたいということで、藤沢市バレーボール協会の主管、神奈川県バレーボール協会の協力を得て大会を開催したという経過があります。天候に恵まれて、参加した各都県のチームの皆さんも大変喜んでおりました。終了後の反省会でも大成功だったということで、全国大会に向けての礎が築かれたのではないかと評価している事業です。以上です。

鈴木委員長 事務局の説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

川島委員 中学生の場合、一般成人と比べ身体の負担面で何かありますか。それから県内ではどのくらいビーチバレーをやっているのか、お聞かせください。

熊谷生涯学習部参事 関東大会は第1回目ですけれども、神奈川県においては2回目となります。子どもたちに対する身体的な負担の程度ですが、体育館で行っておりますバレーボール競技を砂の上でとなりますと、下半身への負担は相当なものかと思いますが、足腰に対する負担の程度は、残念ながら作成したデータはありません。ただ、子どもたちがやっている状況を見ると、天井の高さがなく青空に向かってボールを受けますので、アタックをするジャンプのタイミングが難しいとか、自然の中ですので、風に流されていくボールに向かっていく反射神経といった応用力が必要で、中学生レベルですと、すぐには対応できない部分は見られます。その点を考慮して、通常ですと2人制のビーチバレーですが、4人制として、なるべく負荷がかからないように軽減される形でのチーム編成としております。

それから、どのくらいの学校がビーチバレーを経験しているかということですが、正直申しまして、ゼロと言った方がいいかもしれません。神奈川県の場合も第20回ビーチバレージャパン記念大会のときに、初めて小学生と中学生を砂浜に出して開催したのですが、小学生はバレーボールにならないで、ボールを返したら勝ち、サーブが入ったら勝ちというような状況でした。中学生になりますと、どうにかラリーが続いてバレーボールらしくなるという印象です。それを受けて、何とか県大会を開催してみようということになり、昨年、第1回大会を行いましたけれども、そのとき参加された皆さんの感想としては、初めて砂浜の上を裸足でボールを追いかけたという生徒さんばかりで、非常に感動していたという状況です。ほかの都県においても日常的にビーチバレーを楽しむということはなかなかありませんで、体育館の中で、6人制のバレーボールをやっているチームが、砂浜に出てきてビーチバレーをするというのが実態です。

川島委員

関東大会は第1回で、神奈川県大会は第2回ということで、なぜ踏み切れなかったのか、もっと早く行ってもよかったのではないかと思ったりしていたのですが、身体的負担に関しては、一般的な床ですと1.6倍とか1.7倍のキック力があるようです。それが8歳から12歳の子どもたちが砂の上で運動することの筋肉への負担については、科学的立証をとっていた方がいいと思う。神奈川大学には、大学バレーボール協会科学委員会があると思いますし、六会の日大にも国体の監督にかかわっている先生もおられて、そういったデータも見たことがありますので、ぜひ、そういうところへ依頼して、成長期の子どもたちに砂の上で運動することは刺激力があって脳が活性化るとか、下半身の強化になるというようなメリットがあるのではないかと思いますので、一度ご検討していただければと思います。

小野委員

大会を見ていて、会場設営等において藤沢市バレーボール協会の皆様のご尽力、スポーツ振興財団の職員あるいはボランティアが献身的にやられていて、ビーチバレージャパンに劣らないような会場設営ができていたということは、裏方の力が大きかったと思います。一方、子どもたちはインドアでやっていたスポーツを砂浜に降りてすることになります。プレーするうちに、ボールを追って砂浜に飛び込んでみたくなる。そして1回砂にまみれると、そのまま気にせずプレーしているというような状況で、いい印象を持って帰ったという気がします。内陸の県ですと、専用コートがないということもあって、なかなかビーチを体験するのは難しいと思いますけれども、ビーチバレーに出た子どもたちが「おもしろかった」と宣伝してくれれば、来年度の参加チームがもっと増えるのではないかと、楽しみにしております。

鈴木委員長

ほかにありませんか。

ないようですので、了承することといたします。

×××

鈴木委員長

次に、(2) 第2回神奈川県中学生ビーチバレー大会の結果について、事務局の説明を求めます。

熊谷生涯学習部参事

第2回神奈川県中学生ビーチバレー大会の結果について、ご報告申し上げます。(議案書参照)

8月3日(日)、鵜沼海岸常設ビーチバレーコートで開催いたしました。第2回の大会ということですが、ちょうど全国中学校総合体育大会の6人制のバレーボール関東大会と日程がぶつかり、関東大会で優勝した藤沢市の羽鳥チームは関東大会に出場しておりまして、若干出場チーム数は少ない状況でした。男子の部は参加数12チーム、市内6チーム、市外6チーム。優勝は東橋シスターズ(川崎市)、準優勝は藤沢クラブA(藤沢市)、3位は赤羽根中学校(茅ヶ崎市)と東橋ブラザーズ(川崎市)でした。

女子の部は参加数33チーム、市内15チーム、市外18チーム。優勝は座間東中学校(座間市)、準優勝は手広中学校(鎌倉市)、3位は中島中学校(茅ヶ崎市)と明治中学校(藤沢市)でした。

この県大会は2回目ということで、参加してくるチームは、一度経験したチームがまた参加しておりまして、砂の上で思い切り遊ぶのは楽しいという感想を話しておりました。芝生の上を裸足で走り回るといふ国の施策もありますが、普段、体育館で明かりをつけて練習している子どもたちが青空の下で砂浜の上で、裸足でプレーをするといった違った環境でのバレーボールの楽しみ方をこの大会を通じて味わっている。これを関東大会につなげまして、どうか大会としての成り立ちが可能だということが検証できましたので、来年以降、ぜひ県大会、関東大会、全国大会という手順を踏んで、藤沢の鵜沼海岸を中学生のビーチバレーのメッカにしていきたい、そういう思いを強めた大会であったと評価しております。ただ、全国大会となりますと、中学校体育連盟が主催する全国の大会等もありまして、日程の調整が難しい。今現在、鵜沼海岸でも相当数のビーチバレーに関するイベントが開かれており、その合間をぬって大会を企画しておりますので、中学生の県大会、関東大会、全国大会と大会を広げていった場合に、うまく日程が決められるかどうか、これについては県協会並びに関東、日本協会と調整をしまいたいと考えているところです。

いずれにしても、第2回の県大会を実施いたしまして、参加した子どもたちは大変喜んでおりました。また、観覧の保護者も非常に暑い中、声援を送られており、今年の夏の県大会、関東大会については大成功に終わったと思っております。

- 鈴木委員長 事務局の説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。
- 川島委員 今の子どもたちは、パソコンなど屋内でいることが多いと思います。太陽の下で、しかも8月の暑い中でビーチバレーをやるということは、教育振興に役立つのではないかと。同時に、藤沢市はアメリカ・マイアミビーチなど提携している都市があるけれども、そういうところとリンクしてお互いの子どもたちの交流を検討してもいいのではないかと。そういうことをホームページ等でアピールするのもよろしいかと思えます。
- 澁谷委員 大会に出ている生徒は、ほとんどが部活でバレーボール部に入っているようですが、ビーチバレー大会に出たいと顧問の先生に申し出て、顧問の先生の付き添いで参加するという形をとっているのでしょうか。藤沢では、学校外でビーチバレー専門のクラブチームに所属している子どもたちはいるのでしょうか。
- 熊谷生涯学習部参事 ビーチバレーを専門に行っているクラブはありません。藤沢クラブAというのは、学校に部活動がなく、バレーボールがしたいという子どもたちを集めた総合型地域スポーツクラブです。そういう子どもたちが、6人制のバレーボール活動をしているチームの皆さんと一緒に、クラブチームとして大会に出場しているという状況です。藤沢クラブ以外の東橘シスターズとかブラザーズとか、学校の名前がついているのは総合型ではなくて、学校の部活動として行っているバレーボールチームです。
- 澁谷委員 バレーボールをしていて、ビーチバレー大会に出場したいという生徒がいても学校を通さないと出られないのは、部活動との兼ね合いがあって出場が難しいという生徒もいるのではないのでしょうか。
- 熊谷生涯学習部参事 現在のところ、中学校体育連盟に直接かかわりを持っていただくような広報PRはしておりません。それぞれのバレーボール協会を通じて、各市に投げかけ、バレーボール協会から中体連に情報提供して参加を求めているという状況です。フリーで参加となりますと、ビーチバレー湘南という別の大会があり、こちらは4人制ですけれども、男女ペアでもかまわないし、親子で組んでもかまわない、職場の皆さんでもかまわないという大会もあります。中学生の大会では、1人、2人でチームをつくって出るのは難しい。ただ、クラブを自分たちでつくって、バレーボールを部活動で専門に行っていないけれども、出場したい場合は協会を通じて申し込んでいただければ、学校単位で分けておりませんので、参加できる道は開けておると考えます。
- 鈴木委員長 当日は、本当に天気がよくてよかった。しかも生涯学習部のスポーツ課を中心に、真っ黒になって取り組んでいる感じが非常に印象に残りました。全国大会をスポーツ拠点づくり推進事業の1つとして開催できるように

なればいいと思います。そういう中で、メディカルサポートとかメディカルチェック、救急対策というところでトラブルが出たとか、今回、サポーターはどのようなことをしていたのか、実際に、けが人等は出たのかどうか、お聞かせいただきたい。

熊谷生涯学習部参事　今回の中学生の県大会並びに関東大会は、ビーチバレージャパンを通して医師等に常駐していただき、万が一の時の医療体制については、バレーボール協会、あるいはイベント業者を通じて指示をするという体制がとれております。幸い、中学生の大会においては熱中症による治療を受けたとか、控室で休憩を取ったということは一切ありませんでした。ただ1件、素足でプレーをしていて、貝殻で足を切ったという子が1人おりましたけれども、そのほかは特にありませんでした。

鈴木委員長　選手、役員以外の観覧席の方も含めて対応したということですね。

熊谷生涯学習部参事　はい。

鈴木委員長　ほかにありませんか。

ないようですので、了承することといたします。

×××

鈴木委員長　次に、(3) 第 22 回ビーチバレージャパン&マスターカードマーメイドカップの結果について、事務局の説明を求めます。

熊谷生涯学習部参事　第 22 回ビーチバレージャパン&マスターカードマーメイドカップの結果についてご報告いたします。(議案書参照)

本年、北京オリンピックが開催されました関係で、従来実施しておりました時期を前倒し、7月31日から8月3日までの4日間で実施いたしました。会場は鵜沼海岸常設のビーチバレーコートで、県大会、関東大会と同じ会場です。本年度も昨年度に引き続き、スタンドを建設いたしまして、有料席を設けて開催いたしました。ビーチバレージャパンについては、56 チーム(主催者推薦8チーム、各県代表47チーム、開催地神奈川1チーム)です。優勝は、北京オリンピックに出場した朝日・白鳥で、準優勝は青木・長谷川、3位が高尾・仲矢、西村・森川で、3位に入りました高尾は第1回大会から出場していて、息の長い選手ということで人気がある選手です。

マーメイドカップについては、北京オリンピック代表選手の楠原と佐伯は、残念ながら優勝できずに3位という結果でした。いずれにしても、ビーチバレージャパンについては、国内におけるビーチバレー最高峰の大会です。第1回から藤沢市を会場に開催しており、この大会については今後ともビーチバレー発祥の地としての藤沢メインの大会として継続してまいりたいと考えているところです。以上です。

鈴木委員長　事務局の説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、ご意見・

ご質問がありましたらお願いいたします。

平岡委員

主催者や教育長も含めて、スポーツ財団の方たちが真っ黒になっていたのは、毎日参加した証だと思いながら拝見いたしました。スタンドもいっぱい、しかも気温が30度以上の日が続いていたときでしたので、メディカルチェックが必要な人も出てきたのではないかと心配いたしましたけれども、中学生だけでなく観客も含めて、メディカルチェックの必要なケースが出たのかどうか伺いたしたいと思います。

熊谷生涯学習部参事

ビーチバレージャパン主催者発表では、4日間で延べ2万人の観客動員ということですが、主催者の方に気分が悪くなったとって治療なり、何なりを申し出た方は観客も含めておられなかったと伺っております。暑い中でしたけれども、選手、観客も回を重ねておりますので、こういうものだと、それなりに準備をしてきておられる。夏場の鵜沼海岸で行われるビーチバレーを見に行くときは、日傘が必要とか、飲み物が必要ということも踏まえて来ていると解釈しております。幸いなことに、今回、熱中症等によります治療、休憩の申し入れは特にございませんでした。

川島委員

ビーチバレーをしている人口数と何県がやっているか、把握していますか。

熊谷生涯学習部参事

ビーチバレーを専門にやっている人は非常に少なく、ほとんどプロに近くて、推薦8チームの出身は屋内のバレーボール選手です。日本リーグクラスの選手たちが現役を退いて、ビーチバレーに転向されるというケースが多く見られます。最近では、全日本のVリーグでは通用しないので、はじめからビーチバレーボーラーを目指している方も出始めているように伺っておりますけれども、その選手たちがどのくらいいるかという数については、申し訳ありませんが、把握しておりません。また、各都県代表チームは、それぞれ県協会の選抜で出てきておりますが、どんな状況なのかについては、私どもも把握しておりません。

川島委員

トーナメント表には県名も記載されている。それからビーチバレーボール連盟に所属していないと出られないのですか。

熊谷生涯学習部参事

各都道府県から1チームですから、47チームとなります。それから、ビーチバレー連盟に加盟していないと出られません。ビーチバレー連盟そのものは日本バレーボール協会の下部組織ですので、基本的にバレーボール協会に登録していないと出場することはできません。

鈴木委員長

2万人も来られたということで、駐車場で困ったというのはなかったのですか。

熊谷生涯学習部参事

駐車場は大会関係者、役員については私どもで確保いたします。そのほかは、民間駐車場あるいは公共交通機関利用という中で、トラブル等の報告は受けておりませんので、賄えたと理解しております。

鈴木委員長

ほかにありませんか。

ないようですので、了承することといたします。

×××

鈴木委員長

次に、(4)平成20年度地区レクリエーション大会の実施について、事務局の説明を求めます。

熊谷生涯学習部参事

例年、各地区で開催しております地区レクリエーション大会において、教育委員の皆さんには巡回していただき、地域の役員に励ましてのお声かけをしていただいております。本年度は「神奈川県民スポーツ週間」事業が実施され、これとタイアップして、地区レクリエーション大会を「県民スポーツ週間」の関連事業と位置づけるようお願いし、実施してまいる予定です。日程については、10月5日から10月26日までの日曜日、祝日を想定して組んでおりますが、特に10月12日には大半の地区が予定しております。また、この地域の巡回につきまして、教育総務課に日程調整をお願いしておりますので、ご都合がございましたら、ご協力いただきたいと思います。

鈴木委員長

事務局の説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

特にないようですので、了承することといたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

鈴木委員長

以上で、本日予定しておりました案件は、すべて終了いたしました。

次回の定例会の期日を決めたいと思いますが、10月3日(金)午後3時から、場所は東館2階教育委員会会議室において開催ということでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

鈴木委員長

それでは、次回の定例会は10月3日(金)午後3時から、場所は東館2階教育委員会会議室において開催いたします。

以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

午前10時44分 閉会

この会議の経過を記載し、相違ないことを確認する。

藤沢市教育委員会委員長

藤沢市教育委員会委員

藤沢市教育委員会委員